

凄いぞ お寺の掲示板

古墳時代の川津を学ぶため、上東川津の西宗寺を訪ねた。この寺の裏庭に7世紀に造られた古墳の石室が口を開けている。ここからは刀剣や須恵器が出土しており、かなりの実力者がこの地域を支配していたと考えられる。講師の六道先生に加え、ご住職やご家族からもお話が聞け、期待を超える見学会となった。



帰路、門前の掲示板に目を止めると、そこにはこんな文言が。「水はつかめません すくうのです 心はつかめません 汲みとるのです」なかなか含蓄のある言葉である。これまであまり気にも留めなかったのだが、調べてみると今やお寺の掲示板はブームで「**輝け！お寺の掲示板大賞**」なるコンクールまで開催されている。

過去の入選作の中で異彩を放つのは、「**お前も死ぬぞ 釈尊**」である。お寺の門前で、いきなりお釈迦様から死ぬぞと宣告される

わけだから、その衝撃に身震いする。また「**コロナより恐いのは人間だった**」はテマや誹謗中傷が飛び交った、「**コロナ禍の人間社会を洞察した珠玉の名作**」である。その他にも「**また失敗 またまた失敗 だからなに！**」はポジティブな人生応援型。反対に「**ポーッと生きてても いいんだよ**」はNHKの「チコちゃん」のキメ台詞を逆手に取った優しい教えだ。

パロディ型と言えば、「**吾輩は凡夫である 自覚はまだない**」、「**隣のレジは早い**」などがある。漱石や諺を巧みにアレンジして、読む人を和ませ笑いを誘う。また、ユーモアと風刺ならこんなものもある。「**三途の川の渡し賃値上げ見送ります**」。諸物価高騰の風潮に一撃を加える傑作である。

最後に気に入っているのをもう一つ。「**ローソクは 身をへらして 人を照らす**」上東川津のもう一つのお寺、本覚寺の掲示板である。